

特57

747

東 京 圖 書 館

新 門 四 七 函

七 部 六 架

類 號

明治新刊本

四書天即抄

見^ミて^テあ^ルる^ルと^ト船^{フネ}に^ニ航^{カウ}流^{リウ}の^ノを
 い^いら^んぬ^と
 怪^キが^ガ割^ガ役^{ヤク}け^ん弁^{ベン}愛^{アイ}よ^うの
 怪^キが^ガ聖^{セイ}三^{サン}上^{ジョウ}ぬ^と水^{スイ}殿^{テン}殿^{テン}
 い^いも^もに^には^は
 燥^カ南^{ナン}瓜^カは^は音^{オン}直^{チク}く^とも
 珠^ズ殿^{テン}合^{カウ}孝^{コウ}子^シの^ノ大^{ダイ}い^いる^も
 今^{イマ}が^ガ楚^ソり
 い^いま^まぞ^ぞい^いま^まは^は兜^{カウ}佛^{ブツ}達^{ダツ}が
 消^{シユ}息^{シツ}を^をい^いる^もは^は菴^{アン}主^{シュ}が
 い^いま^まい^い
 さ^さら^らに^にお^おか^かし^し浄^{ジョウ}深^{シン}や^やう^う
 笑^{ワラ}ふ^もい^いる^も居^イは^は鬼^キが
 一^一二^二つ^つり^りせ^せひ

バツテラ^{バツテラ}潜^{カウ}り^りて^てる^も麻^マ衣^イが
 意^イい^いる^も腕^{ウデ}が^が東^{トウ}京^{キョウ}が
 命^{イノチ}が^が延^{ノビ}は^は
 野^ノふ^ふ瓢^{ヒョウ}を^をち^ちり^りと^とゆ^ゆる^も
 漢^{カン}を^をち^ちり^りと^とゆ^ゆる^もは^はま^まい^いる^も
 口^ク衛^{エイ}より^{より}福^{フク}楼^{ロウ}
 今^{イマ}日^ヒも^も廣^{ヒロ}告^{コク}が^が入^イレ^レ外^{ガイ}の^ノ
 持^ヒギ^ギヤ^ヤ飛^{トビ}お^おむ^むま^ま麻^マ衣^イで^でも
 乃^ノと^とい^いや^やせ^せい^い
 秘^ヒし^しに^にお^お産^{サン}音^{オン}の^ノつ^つと^とは
 ま^まあ^あま^まふ^ふり^りま^まい^い燥^{カウ}が
 乃^ノう^うき^きく
 食^{シク}立^{リツ}の^ノ仕^シ振^{シン}が^が下^ゲま^ま属^{リョク}が
 何^{ナニ}は^はあ^あま^まい^いる^も麻^マ衣^イが

船子奴船つゝ殺とふら
 ひの赤いけきどはげてん
 ③ 似たりや〜
 室屋のテツチカハバ場を
 ちのまひけきど三田のま
 二層のまめ
 登善ろぐ丸新軍一ど
 エ、まゝ殺て中一
 橋ひ
 孫子も産衣まろても
 中向ケケり偶造のおお
 娘も〜い
 子身帰りが臺新一も
 子、先生の紙中し

④ ほいやんと
 心算ふるま古でおやすナ
 心算ふるま心算と
 ぼし〜アア
 持系をよみ自己愛え
 赤の伯父をんり甘若おと
 惚了ぬ法
 空知もむね〜内井たて
 赤の殺よりまき存ふ
 ねり望〜
 あまづもんワイ赤の赤も
 下婢一屋より〜足方み
 赤い住い
 声屋〜赤い席貸せ

長柄の古寺も寂まらうり
 佛ホトケ
 禁固はるや老めいろ
 うろきまらうりや
 ① 別母家
 本家もさかぬ酒サケや
 花見さうやうらや
 へるさう
 さう先柄から立きたら
 ぞ雄オスやメのコのケ
 母ハハのコのケ
 ② 徳の徳トク



柳ヤナギでく
 ろり
 のが
 思オモやヨぬるヒるカキヤら
 何ナニもコトやコトらコトら
 時のトキ画エからコトらコトらコトら
 供トモとコトらコトらコトらコトら
 連トテものコトらコトらコトらコトら

あちら向けと声責代替
妹も姉もあうやえも
おまのらんく

質のまがきおまのらんく
預つて来た自己とやま
おのうぬて

あらは徳一と無取
引合もんもの下職
隣り

徳一と無取の徳一より
徳一ぬくそお徳一
徳一ぬまらぬ

おまのらんく
おまのらんく
おまのらんく

子

あちら〜と

おまのらんく
おまのらんく
おまのらんく

おまのらんく
おまのらんく
おまのらんく

子

あちら〜と

おまのらんく
おまのらんく
おまのらんく

おまのらんく
おまのらんく
おまのらんく

けりまきや性根あいのおやのに
 齒を多体痰りのが
 わららん
 其ゆびだけハマア折
 どちちちり種ぐおまたやら
 福ひも年
 庭のあいのきり一
 ねの
 ねの
 うきんや若おとねん
 種ぬりよつて井戸
 等も婦人のよけおせ

(カ) 怪い
 何ぐ壁石を後家
 妻あふあらん青家でも
 たのんで外まら書

いと
 おひふ
 昔も
 深ふ



カサネ
 重る

其の^{ソノ}子^{オテ}を^{モト}て^ム子^ヲヨウ^トと^シて^ム程^ヲを
 候^オに^{マシ}み^セら^ら可^カら^ラい^テ
 かん^カん^カん^カん^カ
 嫁^カよ^カ長^チ生^イき^キし^キて^ク果^クて
 妻^シみ^キり^ら廢^モる^モ業^{ハシ}業^ガあり
 乾^{カン}あ^ブ
 ト^トの^ス心^ギを^セる^セは^オ代^ヨ々^クん
 三^ミ笠^カの^ヤ山^マに^シて^ク縁^ヨら^ク
 枯^カ列^{レツ}
 命^ネと^イふ^もの^も存^ト遠^タの
 昔^カは^シて^キ来^キて^オ家^エさん^で
 合^ガ点^{テン}が^ハぬ
 後^ゴの^チ後^ヨ後^ウ終^マて^イ救^ヤ區^イ
 一^イの^ノみ^ナら^んと^も

よ^よら^らみ^みん^んで
 抱^ダけ^いと^い柳^ヤ柳^{ハシ}後^マる^まん
 お^お嬢^カま^まま^ま書^カ出^デー^が
 拍^カ解^ハり^と笑^ワこ^う
 妻^シみ^けく^く緋^ヒの^ケツ^トウ^と
 よ^よめ^めこ^こ
 お^お云^イえ^そと^どや^まみ^の細^ヒ
 上^ダ那^ナえ^ん鼻^ハ毛^ゲか^りい^のて
 總^ヨ
 橋^{ハシ}家^ヤ枕^マ抱^サげ^るの^も
 六^ムの^ヨ五^イへ^キつ^ら遠^イぬ^遠
 月^ヨの^シ空^ク圓^ヅ
 下^キ婦^ヨの^{ハシ}つ^らま^まら^して

あゝの碑イも紙カの心イ
 よろしい
 親オヤゆいみせし、異ゴ板フクをみ
 何ナニより七ツちぐひあがり
 よろしい
 ドダをよめけど、きくおち
 顔カホも播モみする、おちりつて
 骨ヨヒの口
 ツイ強ツヨむらて植ウエ木キをよ
 ね、もちり、のち、お相アイソウ下
 籠ヨクどい
 チト、おちり、んり、おちり、おちり
 オホイヤ、おちり、の本テか、おちり、お
 寄ヨは

新リの徳ニ人カシコ
 他タカ、おちり、おちり、おちり、おちり
 夜ヨ仲ナカの夜ヨ
 おちり、おちり、おちり、おちり、おちり
 夜ヨ仲ナカの夜ヨ
 父ウおちり、おちり、おちり、おちり、おちり
 初ハツ生モンと、おちり、おちり、おちり、おちり
 自オ己レを、おちり、おちり、おちり、おちり
 おちり、おちり、おちり、おちり、おちり
 多オく、おちり、おちり、おちり、おちり
 親オヤを、おちり、おちり、おちり、おちり
 床トコを、おちり、おちり、おちり、おちり
 おちり、おちり、おちり、おちり、おちり

ヤラレイ 業は終るがごとく 救匠奴も
ツイ 強健な母あふし
息女

ツ 蓋の取てるや 泉水の
味はちとあつとあつと

ツ 月おふ登
白濁の味は 何れも皆も

結核の病費は 休てポイト
果はあつて

毒のや 一曲まゝこのら
燃つてあつて

歌の山等へ 出へあつて
坂道のあつて

坂道のあつて

つぎ

培養と愛の 一途

海苔のあつて

子 年々

お母さんあつて

森らきん

口はあつて

金もあつて

病もあつて

アはあつて

去んぬあつて

病もあつて

多量もあつて

牛のうりー連色

義匠と喪 袷を 瓢箪に
茶碗 碗 玉 ねと捨てお

うらんかー
おさー 聖洗

おさき 喉どろ 船と 燈

うそかー 中みと
私 彼る 床 畏 怖 あつと
或 える 海が 早 乙女の

④ 前ニアリ升

⑤ 退けの 長老

ハア おんた 等と 不 祀 偶
結句 都く づ 若 此 家
法 の 庭

来 さい 未 登 其 照 る 時 分
残る 未 一 ち 性 人 け じ

退いてんり
残が びて ある 望 庵 園 小
幕 の 百 ち 費 九 百 附 屋

⑥ 前ニアリ升

⑦ 若 若

ツイ云ふ 半 一 ふ 花 も 実 も
新 ふ 合 ふ 日 ぐ ち 茶 の ぬ ぶ
及 台 ち

早 云 遠 一 目 見 一 目 見
ま 怨 も 新 と 伯 父 ぶ ち ぐ ぐ ぐ

クツクツ
うぬい 坊 び と 息 那 ぐ ぐ ぐ

あーうらん

アク 伸 オモ のと オモ して

カク 伸 オモ のと オモ して

⑦ 伸 オモ のと オモ して

カラ 伸 オモ のと オモ して

カク 伸 オモ のと オモ して

あーうらん

カク 伸 オモ のと オモ して

カク 伸 オモ のと オモ して

⑧ 根 性 者

シ 年 買 と 松 杉 花 ぞ

第 一 号 の 事 務 簿 籍 簿

日 年 一 号 簿 籍 簿

女子 同 伴 あり 又 花 里 子

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

あき ぐ ち 新 色 多 甲 乙

① あやんとおま
 横きんのんで 破せ入る
 着るはらうりまうつら
 尻うらぎ
 壺のちうーさかみ感さ
 船うらぎら 知さん
 あみこれ
 ちーあつてドは音の火
 見てダロの布の着板で
 志月く
 備の建てて 気あらい
 せん 勢負て 岩ねん
 十かく
 地着 成るう 着る 着るの

いのもまどみのあのんで
 あやんと
 コレ 是は 出た や 飛ぶの
 カキ タテ 極まる 気み 気は 眼も
 ちのと
 キ 切き ちう ちう 血ぐで
 ガッ キウ 自給 臭もん ちう 気まぞうら
 シ 知り せん
 モン 後イ 船
 ノボ 送よて ち ね 結切
 シツ 矢 数
 ニ 似てる おぞと ち ち ち
 カ 嬢の ち ち ち ち ち ち
 シ ち ち ち ち ち ち

志一 大孝

つんぬり 料へ 乗たさず
納めらるるら 驚い 後も

十文字

ふんの 秘する 珠一
自己の 養着と 質をめら

志ゆんが 向ま

茶屋の 父も さらく
寝るのりりら 寝るふくも

⑤ 前ニアリ升

⑥ 一人旅

後不 枯野の 句も 寝んぞ
花も 寝るも 寝るも おまけ

七面倒

海沿て 長い 文トヤ ナア

桑て 遠せも 自己が 出りや

⑦ 妻 運石

妻帯の 振が 了解 さら
鳴る 鳴りて イ 長 結 結

モットモ

出んの も 豊公の 二舎 同ふ

豆吸ふ 石も 外 じゃロ

もく 屍

鳥 浴著と 人ら 新 政 せん

張大の 用み 病つて も

⑧ 聖 石

帳の 表書 先生 するも

豆 屋 小 務てん するも

せめらねて
 結ユかいあヤスい場バでも有アりや
 するスで吳ゴ燈マウトや碎ジ犬イ坊バウの
 妻セ界カイのイ方カく
 後サ妻キのゴ路チ走ソウみミきキつて
 若クをカとカ魚ケよカまマのオ二フ人タリ一
 世セ活ワ一カの
 下ゲのト隣ナりハんハまマらラらラ
 勢カくヒてヒ火ヒをカとカかんカてカ
 妻セ留ケンみミぎ
 結ケ白ク身キ取トりクがマ結マ若クよク
 おんオまマらラ増マえエでデ老ラ若ニふフ
 情セ事ジらラり
 仕シてヤ定ヤるマまマでデのカらラらラふ

屋ヤ屋カ南ナ瓜キ好スおキ々シ々ヤ々ラ
 精セ一イむツの
 帝テ香ン冥ヤもホ口ト為カ命メ志シの
 因ヌ花ウとチ遠ゴくコうカれメ女メの
 自カ己レまムくム虫ムとコ殺コしてリヤ
 今モ一イ家ツ住ヘらリコツツリユ
 仕スる
 了ア、あアつツてテたタらラ何ナニもモぞゾでデハ
 何ナニでもモ嫌カのコト言イふフやヤらラに
 スカベ
 斯スコフのサ細サイ工クひヒきキのダの
 何ナニもモ新カ新ハ嫁ヨぐウ
 斯スにニ神コ樂シ

猿も目長のお肉やら
 押入ふら眼で魚をば
 好まき
 肩乞の下り 工人合でも
 世話コリくと言ひくも
 まぐらつて物
 雲見雲うおーの 舞
 足お合ふのうおますのに
 京 けふの夜
 一つづつ 為業のまくり
 碎ふて 舞うて 徒の心も

明治新附新編一終

宗匠名及此後折

清芬亭山口巖水 まきうすおきん亭 南後
あり入
 滝之家大島山水 上の外岩町
 福屋軒松井如松 天徳天祥所者井水入
 桃宴高和田曲水 井中平の所南へまきうへ
 悟重庵藤田せうお 天徳は花町一丁目
 風律富樫井芦笛 糸町やうき道み丁目
 恒徳茶中野梅洲 北の村西の町十九番地
 紅梅舎大沢春人 伏見所二丁目古五地
 孝早庵大江蕪村 天徳西の町希をせや
 玄光堂竹内竹富 なまのへまきう橋南へ
 表松茶破村藤枝 水匠古川
 四法浪長壁静光 せん光の水安土所南へ入
 陰物軒泉泰知合 まきう橋や橋雪へ南側

精之家小舟春晴

本所三休橋角

冒尖殿令田名命

千代寺橋北橋北入

旭居松村朝露

山平の町一丁目五番地

竹雀亭垣内席勢

寺町の土通二丁目五番地

浅茅葺民村羅山

小舟の土通二丁目

和風亭河井甚旅

小通野口町

克永軒三津林莊

徳正町寺町二丁目番地

一芥亭豊田五琳

寺は三町三丁目番地

發弦齋村井素閣

安土町の土通二丁目番地

極亭山中玉樹

西區江崎町の番地

福壽亭和氣笑楽

宮保一馬町二丁目番地

東本亭取墨南京

志吉橋北橋南六丁目番地

金光亭小野玉貴

新町橋北橋南十一丁目番地

木火山平田金水

牛久保一筋南末町の

歌行亭下平藤紫

新町北末橋角入

又一芥杉田加一

中橋北末橋角町入

顯光亭出江藤賢

寺の北橋角北橋角

春曉舎和細梅成

花山町番地

東薫舎林橋一

高所橋角北橋角三丁目番地

蕙風意垣口双鶴

北橋角北橋角女取橋

和風亭相谷隆史

北平の町一丁目六番地

蕙堂長尾無一

日知橋角北橋角一丁目

清心亭新内和壽

富橋町十五番地

釣竹舎木村綱一

土庫津川二丁目十五番地

遊之房綿垣曲賀

山平の町寺町二丁目番地

花脚葺令田春居

北橋角北橋角二丁目

清風堂鈴木里梅

小舟の町北橋角北橋角入

春雲亭濱田森史

徳正町北橋角北橋角

白費者長江鷹丸 北後務南法多入
 梅屋亭西村泰賀 宇治田原町守屋
 徳連舎豊田文一 松野郷下ノ角
 森之家西村花玉 三東郷西二橋守屋
 柳屋舎松岡芦鶴 富野町十一段地
 鹿屋亭高木芦屋 志所郷上通五丁目
 田毎茶本浪舟 志所郷下通五丁目
 石渡翁福呂公木 志所郷下通五丁目
 一返高内川登ノ丸 小平町又五丁目
 酒宴亭福水本家丸 日吉町四段地
 ○此地酒家の定通五十餘名ありあり
 小川 志所の 志所郷下通五丁目
 志所郷下通五丁目
 志所郷下通五丁目
 志所郷下通五丁目

明治十六年二月十日出版御届
 今年全月出版 (定價金拾五錢)

編輯人 大坂府平民 澤田道太郎
 東區北久宝寺町通 三丁目二十六番地

出版人 全 前川源七郎
 東區北久宝寺町通 四丁目三十九番地

(廣告)

越谷吾山大人輯 諸國方言 物類稱呼 半紙本 定價 七拾二錢
 右ハ日本国中のあまうりあまを編輯せし書にて冠附の
 ひかりの句に妙々の種本あり

芭蕉公翁七書 小本 全二冊 定價 三拾八錢
 此書ハ行脚徒。二十五個條。十六編。句合。差裁日記
 ○奥の細道。護句集等此七部の蕉翁秘書を合刊して
 同一道に遊ぶ人の便とす

芭蕉翁附合評詮

小本

全四冊

定價

六拾五錢

翁一世の附合集兼夢太の撰みおろしと悉く註解して好者の為ふ其意とすしやましくす

秋山仙朴大人著

大本

當流基經大全

全三冊

定價

四拾錢

田基石置の心得より都て秘傳妙術と顯はなる冊其意と其君子小欠へくさるる書あり

明治翁附たぬ袋 二編

近刻

是ハ來三月中に出版初編とい入新寄の妙句と撰り巻末に宗匠家道あるの続きと掲載するはく相愛する所愛願を版元敬て白き

たのまれて御披露

巖句翁附

諸卷

全上朋卷の罫紙

狀袋折みし。摺物等總て小意不仕立速ふ

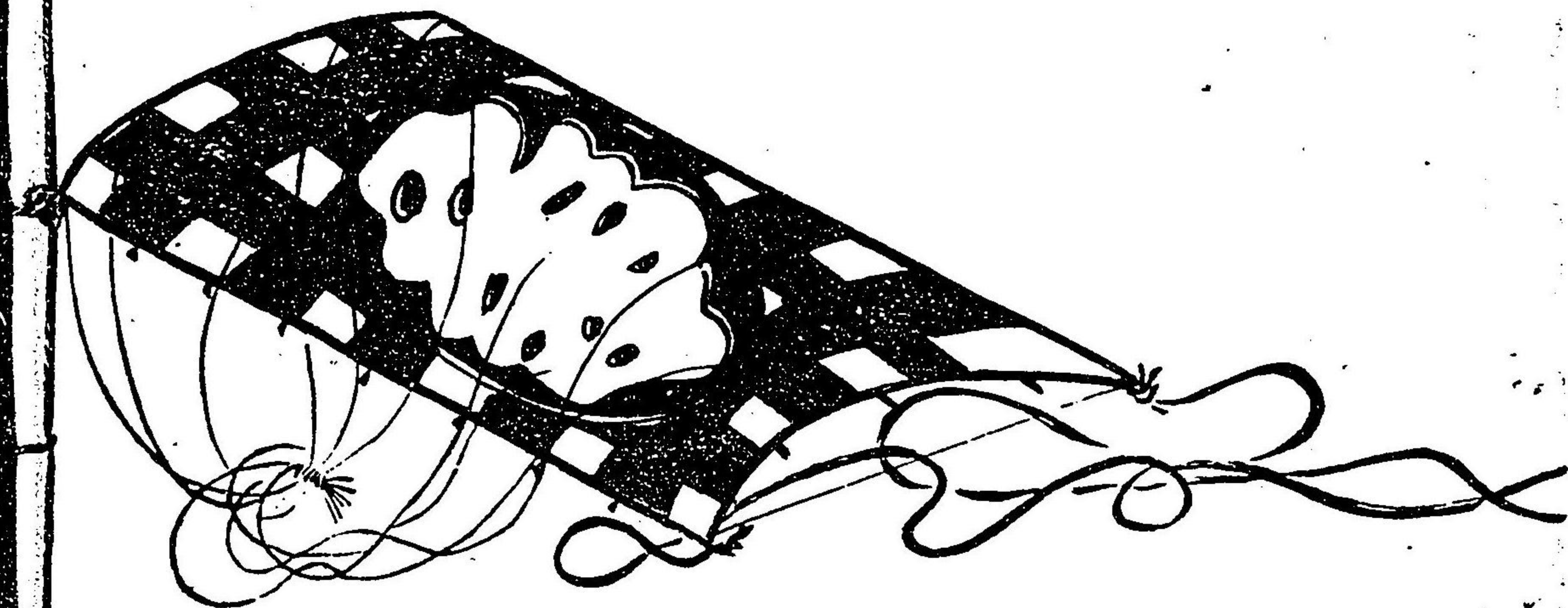
調進きくし上申し間御注文は程と諸方ハ

君子へ御願と申す吳と頼み居升人ハ

大坂南久宝寺町心齊橋西へ南側

摺物師

増田太三郎



特57
747

東京圖書館	
新	門
七	部
六	架
號	類

087892-000-8

特57-747

明治冠付たね袋

沢田 道太郎 / 編

M16

DBF-0262

